

# 食品市場新聞

発行所  
(有)食品市場新聞社

〒652-0844  
神戸市兵庫区中之島1丁目1-4  
電話(078)681-1046番  
FAX(078)681-3824番  
http://www.sssnews.co.jp  
購読料 (1ヵ月)4000円

倉敷青果荷受組合

## 岡山県内産の調達強化

来年2月 完成予定 カット野菜工場を増設

岡山県の民営青果市場、倉敷青果荷受組合(富本尚作理事長)は、カット野菜工場を増設して岡山県産の業務加工用野菜の取扱を強化する。今年2月からは低温集出荷貯蔵施設が稼働しており、両施設をフル活用して実需者のニーズに応えるほか、地域の農業振興につなげる狙いだ。

岡山県の民営青果市場、倉敷青果荷受組合(富本尚作理事長)は、カット野菜工場を増設して岡山県産の業務加工用野菜の取扱を強化する。今年2月からは低温集出荷貯蔵施設が稼働しており、両施設をフル活用して実需者のニーズに応えるほか、地域の農業振興につなげる狙いだ。



今月9日に執り行われた起工式

備する。鉄骨2階建てで、延床面積は1325平方メートル。1階でカット加工や包装を行い、2階に事務所や検査室などを設ける。17年度の農水省「強い農業づくり交付金」から補助を受けた。

加工用野菜の供給が増加したため、カット野菜工場の増設に踏み切った。

新施設の年間処理能力は1920ト。従来より処理能力を2割高める。ドライバー不足による輸送運賃の上昇、食の安全・安心に対する関心の

高まりに対応しようと、同組合では岡山県産業務加工用野菜の生産拡大に取り組んでいる。15年10月には県内生産者と協議会を発足。2年後の19年度にはキャベツ、青ネギ、レタスで計2000トの生産を目指している。さらに同組合でも、自ら農業生産に乗り出した。昨年10月には農産物の生産を行うクラカアグリ(株)を設立。総社市にあ

る1畝のほ場で今年2月から栽培を始め、19年度には14畝まで面積を拡大する計画だ。  
クラカアグリが生産した農産物は、倉敷青果荷受組合のカット野菜部に全量を契約出荷している。「加工業務用野菜のモデル農場の役割を果たし、協力産地を拡大していきたい」(富本理事長)。同組合は98年、全国の青果卸に先駆けてカット野菜事業に参入。16年度のカット野菜部売上高は前年度比15%増の43億円と毎年増収している。カット野菜工場を増設は今回で11回目。

今月から着工し、来年2月の完成を目指す。岡山県産の業務